主催：日本板鰓類研究会／共催：東京都葛西臨海水族園・長崎大学水産学部・岩手大学三陸水産研究センター

板鰓類シンポジウム2016

IN葛西臨海水族園

2016.12.3 SAT 9:20 - 20:00

1 口頭発表
／ホテルシーサイド江戸川 2階会議室「はまかぜ」（東京都江戸川区臨海町 6-2-2）

2 ポスター発表・ライトニングトーク
／東京都葛西臨海水族園（東京都江戸川区臨海町 6-2-3）

申し込み制

【応募方法】FAX or mail にて①シンポジウム②館内ツアー③懇親会への参加の有無 をお知らせください。
【応募宛先】FAX：095-819-2799 ／ mail：y-atsuko@nagasaki-u.ac.jp
【締め切り】2016 年 11 月 23 日（水）まで
【お問合せ】担当：山口敦子（長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科）／ TEL：095-819-2822

●参加費 2000 円（昼食代込／日本板鰓類研究会会員は 1000 円／別途懇親会費）

プログラム

9:20 開会挨拶（仲谷一宏）

9:25-16:35 口頭発表

午前の部 1（座長：佐藤圭一）

9:25-9:40 1.台湾産ナヌカザメ属の分類学的再検討
／○仲谷一宏（北大）・何宣慶（台湾国立海洋生物博物館）・ギャビン J.P. ネイラー（米国チャールストン大）

9:40-9:55 2.日本産ヘラツノザメ属の再検討
／○松本章弘（東海大院海洋）・田中彰（東海大海洋）

9:55-10:10 3. ネコザメとドチザメの舌・鰓弓・心臓・囲心腔および横隔膜の比較研究―鰓から肺への進化に関する重力進化学的研究（第 1 報）
／○西原克成（西原研究所）・樺澤洋（京急油壺マリンパーク）

10:10-10:25 4.板鰓類心エコーに見る脊椎動物心臓の形態・機能進化の系譜
／○平崎裕二（慈恵医大院医）・南沢享（慈恵医大細胞生理）・岡部正隆（慈恵医大解剖）

10:25-10:40 5.板鰓類に寄生するウミクワガタ類（甲殻亜門；等脚目）
／○太田悠造（山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館）

休憩

午前の部 2（座長：山口敦子）

10:55-11:10 6.駿河湾深海域における上位捕食者の役割に関する研究
／○藤原義弘・土田真二・河戸勝・佐藤匠・松本恭幸・笠井彩香・高橋幸愛・力石嘉人・大河内直彦・藤倉克則（海洋機構）・山中寿朗（海洋大）・大西雄二（岡山大）・田中 彰（東海大海洋）

11:10-11:25 7 大阪湾におけるナルトビエイの摂餌生態の報告
／○五島幸太郎（アジア航測（株）環境部）

11:25-11:40 8.有明海産ナルトビエイによる食害防除のための飼育試験
／○川崎信司・諸熊孝典・栃原正久・内川純一（熊本水研セ）

11:40-11:55 9. ナルトビエイの安定同位体比分析による二枚貝の食害実態解明の試み
／○渡邊真緒・古満啓介・梅澤 有・山口敦子（長大院水環）

11:55-12:10 10. 九州北西沿岸におけるアカシュモクザメとシロシュモクザメの出現と生態
／○山口敦子・原康二郎（長大院水環）・中村雅之（海の中道海洋生態科学館）・古満啓介（長大院水環）

昼休み

午後の部 1（座長：堀江琢）

13:20-13:35 11. 葛西臨海水族園での板鰓類飼育展示の取り組み
／多田諭・笹沼紳一・○小味亮介（葛西臨海水族園）

13:35-13:50 12. ヨシキリザメの飼育
／○萬倫一（横浜・八景島シーパラダイス）・澤木清人・大谷明範・阿部鮎美・荒川美緒・藤森純一（仙台うみの杜水族館）

13:50-14:05 13. 野外におけるジンベエザメの体温初記録
／○中村乙水（長大海セ）・松本瑠偉（美ら島財団）・佐藤克文（東大大気海洋研）

14:05-14:20 14. 駿河湾産アカエイの年齢と繁殖
／○岩田尚希（東海大院海洋）・田中彰（東海大海洋）

14:20-14:32 15. 東シナ海と日本海におけるガンギエイの成長特性の地理的変異
／○原康二郎・古満啓介（長大院水環）・上原伸二・八木佑太（水産機構日水研）・山口敦子（長大院水環）

14:32-14:47 16. コモンカスベにおける遺伝的集団構造
／○三澤遼（京大院農）・成松庸二（水産機構東北水研）・遠藤広光（高知大理）・甲斐嘉晃（京大フィールド研セ）

休憩

午後の部 2（座長：苫名充）

15:05-15:20 17. 板鰓類におけるアルファキサロンの麻酔効果
／○矢野 渚・柳澤牧央・当真英之・村雲清美（美ら島財団）

15:20-15:35 18. ツノザメ胎仔に必要な酸素はどこから来るか
／○冨田武照（美ら島財団総研セ）・Chip Cotton（フロリダ州立大）・戸田 実（美ら島財団）

15:35-15:50 19. アカエイの生殖に関する組織学的解析
／○小林靖尚（近大農）

15:50-16:05 20. オオメジロザメはなぜ川に上るのか―西表島浦内川における遡上と生態―
／○櫻井もも子（琉球大院理工）・今関到・兵藤晋（東大大気海洋研）・立原一憲（琉球大理）

16:05-16:20 21. オオメジロザメはなぜ川を上ることができるのか―飼育実験とトランスクリプトーム解析による広塩性メカニズムの研究―
／○今関到・若林翠（東大大気海洋研）・工樂樹洋・原雄一郎（理研）・櫻井もも子（琉球大院理工）・立原一憲（琉球大理）・兵藤晋（東大大気海洋研）

16:20-16:35 22. 板鰓類ゲノム研究の動向：遺伝子でみるサメらしさとは？
／○工樂樹洋（理研）

16:35- 口頭発表の部 まとめ（田中彰）

葛西臨海水族園のレクチャールームへ移動

17:00-18:00 ポスター発表 & 葛西臨海水族園スタッフによる館内ツアー（ツアーは予約制）

P1 イヌザメ胚（*Chiloscyllium punctatum*）の発生プロセス
／○鬼丸洸・元根文雄（理研）・喜屋武樹・西田清徳（海遊館）・工樂樹洋（理研）

P2 日本海で初めて採集されたイズヒメエイ *Dasyatis izuensis* とアリアケアカエイ *Dasyatis* sp.
／○仁井崇晶・荻本啓介・園山貴之・石橋敏章（市立しものせき水族館）

P3 愛知県東幡豆の干潟にみられるエイ痕跡の出現状況
／○堀江琢・高橋健馬・吉川尚（東海大海洋）・石川智士（地球研）

P4 北西太平洋におけるヨシキリザメ成熟雌の回遊経路
／○塩崎航・藤波裕樹・甲斐幹彦（水産機構国際水研）

P5 雌イトマキエイの生殖器官の発達と性ステロイドホルモンとの関係
／○野津了・冨田武照・宮本圭（美ら島財団総研セ）・矢野渚・村雲清美・松本瑠偉・松崎章平（美ら島財団）・佐藤圭一（美ら島財団総研セ）

P6 駿河湾で採集したラブカの PCBs と DDE の蓄積特性について
／○金田涼（東海大院海洋）・堀江琢・田中彰（東海大海洋）

P7 駿河湾深海域におけるトップ・プレデターの遺伝的多様性に関する研究
／○河戸勝・土田真二・笠井彩香・高橋幸愛・藤倉克則・藤原義弘（海洋機構）

P8 深海上位捕食者のバイオマス推定に向けたベイトカメラ調査の条件検討
／○佐藤匠（海洋大）・土田真二・河戸勝（海洋機構）・小磯桃子（東邦大）・藤倉克則・藤原義弘（海洋機構）

P9 日本周辺におけるガンギエイの系統地理
／○日下貴裕（近大院農）・原康二郎・古満啓介（長大院水環）・上原伸二・八木佑太（水産機構日水研）・山口敦子・柳下直己（長大院水環）

18:00-20:00 ライトニングトーク & 懇親会 ／館内レストラン

L1 ギンザメ類の卵殻上面の隆起線は何のためにあるのか？
／○三森亮介（葛西臨海水族園）

L2 サメの全身骨格標本作成について
／○宇井賢二郎（広島マリホ水族館）

L3 熊野灘で漁獲されたネズミザメ
／○高村直人（鳥羽水族館）

L4 アカシュモクザメのユニークな頭の形の意味を伝えるガイド
／○西村大樹・瀬戸川博美・野島麻美（葛西臨海水族園）

L5 中高生と実施したメガマウスザメの解剖
／○喜屋武樹・北谷佳万・百田和幸・西田清徳（海遊館）・仲谷一宏（北大）

L6 ガンギエイ科の 1 種メガネカスベ（生体）の安定的確保に向けて
／○苫名充（日大生物資源）